

学校図書館システム再構築及び運用保守業務
基本仕様書

令和8年5月

甲府市教育委員会

目 次

| | |
|----------------------------|----------|
| 第 1 章 総則 | 1 |
| 1 業務の目的 | 1 |
| 2 業務範囲 | 1 |
| 3 対象の規模 | 1 |
| 4 履行期間 | 1 |
| 第 2 章 システム機能要件 | 1 |
| 1 基本機能要件 | 1 |
| 2 書誌データ (MARC) 対応要件 | 2 |
| 第 3 章 ハードウェア・インフラ要件 | 2 |
| 1 サーバ及びストレージ構成 | 2 |
| 2 クライアント端末及び周辺機器 | 2 |
| 3 ネットワーク及び周辺設備 | 2 |
| 第 4 章 セキュリティ要件 | 3 |
| 1 アクセス制御 | 3 |
| 2 個人情報保護 | 3 |
| 3 防御・復旧体制 | 3 |
| 第 5 章 導入・構築要件 | 3 |
| 1 プロジェクト管理 | 3 |
| 2 データ移行要件 | 3 |
| 3 稼動支援 | 4 |
| 第 6 章 運用・保守要件 | 4 |
| 1 システム運用管理 | 4 |
| 2 保守・サポート体制 | 4 |
| 3 契約終了時の業務 | 5 |
| 第 7 章 オプション提案 | 5 |
| 1 提案の扱い | 5 |
| 2 提案検討項目 | 5 |

第 1 章 総 則

1 業務の目的

本業務は、学校図書館が、児童生徒が自発的・主体的に読書や学習を行う場として、読書等を介して創造的な活動を行う場としてこれまで以上に機能することを目指し、児童生徒及び教職員双方が管理・利用しやすく、性能・機能に優れた最新のシステムを構築することを目的とする。

2 業務範囲

(1) システム構築及び運用保守（業務委託）

サーバ、蔵書点検機器、ソフトウェア関係、現行システムからのデータ移行、導入設定作業、現行システム機器の返却支援及びデータ消去並びに運用保守業務。

(2) 端末機器等の納入（物品購入）

各学校設置端末（窓口用、事務用）、バーコードリーダー、レーザープリンタ等の納入。※構成機器については別紙 3 - 2 「構成機器一覧（物品購入）」を参照すること。

3 対象の規模

甲府市立小中学校 36 校を対象とする。提案にあたっては、以下の実績値(令和 6 年度)を基準とし、契約期間内のデータ増加に対応可能な設計を行うこと。

(1) 登録人数

11,954 人（最多校 1,115 人）

(2) 年間貸出数

756,731 冊（最多校 85,666 冊）

(3) 蔵書数

411,241 冊（最多校 16,292 冊）

4 履行期間

(1) システム構築期間

契約締結日から令和 9 年 2 月 28 日までとする。

(2) システム稼動日

令和 9 年 3 月 1 日とする。

(3) 運用保守期間

令和 9 年 3 月 1 日から令和 14 年 2 月 29 日までとする。

第 2 章 システム機能要件

1 基本機能要件

- (1) 別紙 1 「学校図書館システム機能要求一覧」の全要件を満たし、利用者サービス及び管理業務を統合的に処理できるトータルシステムであること。

- (2) 不具合修正及び機能改善等のリビジョンアップを継続的に提供すること。
- (3) サーバや通信回線の障害時、スタンドアロン端末で貸出・返却・利用者検索等の基本業務を継続できること。
- (4) 現行の利用者カード及び蔵書バーコードを、無加工で継続利用できること。

2 書誌データ (MARC) 対応要件

- (1) JAPAN/MARC、TRCMARC、NDL-MARC 等の主要な各種 MARC に標準対応していること。
- (2) 取り込んだ MARC データがシステム内で正常に展開され、蔵書管理や検索等の各種業務が滞りなく実施できること。

第 3 章 ハードウェア・インフラ要件

1 サーバ及びストレージ構成

- (1) 別紙 3 - 1 「構成機器一覧 (業務委託)」を基準としつつ、稼働に必要なすべての機器・部材を提案に含めること。不足が生じた場合は、事業者の費用負担で提供・設置すること。
- (2) RAID 等により冗長化し、データの可用性を確保すること。
- (3) 構成はオンプレミス型、クラウド型、または本市指定のハウジング (IDC)利用のいずれも可とし、最適な構成を提案すること。
- (4) 停電継続時にシステム全体を安全かつ自動でシャットダウンさせるため、十分な容量の UPS (無停電電源装置) を経由した給電とすること。
落雷等による異常電圧から機器を保護するため、サージ防護機能を備えること。

2 クライアント端末及び周辺機器

- (1) 別紙 3 - 2 「構成機器一覧 (物品購入)」を基準としつつ、稼働に必要なすべての機器・部材を提案に含めること。不足が生じた場合は、事業者の費用負担で提供・設置すること。
- (2) 国内の官公庁又は教育機関において同等規模以上の端末納入実績を有するとともに、国内に正規サポート窓口を有し、日本語による技術支援が受けられるメーカーの製品を納入すること。
- (3) 各校の事務用端末及び窓口用端末で構成すること。
- (4) 複数業務の同時起動時もレスポンス低下を来さない安定した基本性能を担保すること。
- (5) ローカルディスクは SSD を採用すること。
- (6) クライアント PC の OS は Windows 11 以上であること。

3 ネットワーク及び周辺設備

- (1) 既設 LAN 配線 (情報コンセントまで)を使用し、情報コンセント以降のスイッチ

ング HUB 及び LAN ケーブルを今回調達分へ交換すること。

現行の学校図書館システムのネットワーク構成については別紙 2「現行のシステム構成図」を参考とすること

- (2) 露出部分はモール等の保護材で被覆し、安全性と美観を確保すること。施工後は本市の検査・承認を受けること。

第 4 章 セキュリティ要件

1 アクセス制御

階層化されたユーザー権限を設け、ログイン時のパスワード認証を設定すること。

2 個人情報保護

- (1) 市個人情報保護条例及び情報セキュリティ関連規則を厳守すること。
- (2) サーバ保存データの暗号化及び通信の暗号化を実施すること。
- (3) 甲府市の書面による許可なく、個人データを学外へ持ち出すことを一切禁止する。

3 防御・復旧体制

- (1) サーバ及び全端末にウィルス対策ソフトを導入し、定義ファイルの自動更新を行うこと。
- (2) 不正アクセスや感染時の復旧体制を確立すること。

第 5 章 導入・構築要件

1 プロジェクト管理

- (1) 甲府市教育委員会へ丁寧な説明を行い、議事録の作成及び承認プロセスを徹底すること。
- (2) コミュニケーションツールは双方の齟齬が無いようにドキュメントとし、甲府市教育委員会の承認を得ることとする。
- (3) 全校を事前に現地調査し、承認を得た「配置図案」に基づき設置を行うこと。
なお、各機器の設置場所については、現在の設置場所を基準としつつ、各学校の要望を踏まえた最適な配置となるよう調整すること。ただし、配置の変更は既存の電源及びネットワーク環境の範囲内で対応可能な、同一室内におけるレイアウト変更等を原則とし、本業務の範囲内に含めるものとする。

2 データ移行要件

- (1) 対象データ

現行システム「富士通製 LB@SCHOOL V3」が保持する下記のデータを現行システムの維持管理事業者が抽出を行うので、新システムの請負業者はデータ移行すること。

| NO. | 対象データ | NO. | 対象データ | NO. | 対象データ |
|-----|-----------|-----|---------|-----|---------|
| 1 | 書誌データ | 2 | 内容細目データ | 3 | 目次データ |
| 4 | 雑誌タイトルデータ | 5 | 雑誌各号データ | 6 | 利用者データ |
| 7 | 利用者通知データ | 8 | 貸出データ | 9 | 相互貸借データ |
| 10 | 予約データ | 11 | 貸出履歴データ | 12 | 予約履歴データ |
| 13 | 資料データ | 14 | 資料通知データ | 15 | 典拠データ |

(2) 移行責任

整合性に関する最終責任は事業者が負うものとし、欠損時は事業者の責任と費用負担で完全復旧させること。

(3) 他事業者への再委託を禁止する。

(4) データ移行が完了し、新システムの稼働開始後に不要となる現行の貸借機器について、復元不可能な方法によるデータの完全消去及び消去証明書の提出、並びに甲府市及びリース会社との協議に基づく機器の取り外し、梱包及び引き渡し等の返却支援作業を実施するものとし、当該作業に伴う一切の費用は本業務の委託料に含むものとする。

3 稼働支援

(1) 稼働1ヶ月前までに、本番データに影響しない事前操作研修環境を提供すること。

(2) 稼働前にすべての学校図書館司書が習得できるよう、十分な研修を実施すると共に、稼働後は、問い合わせを含む継続的な支援・サポートを実施すること。

第6章 運用・保守要件

1 システム運用管理

日常運用（バックアップ、電源管理等）は原則として自動運転とし、職員対応を必要としない構成とすること。

2 保守・サポート体制

(1) 受託者は本システムの安定稼働に対する一義的な責任を負い、障害原因を問わず、すべての申告を単一の窓口で受け付けると共に、主体的かつ迅速に原因の切り分けから全面復旧に至るまでの一連の対応を最後まで確実に統括すること。

なお、当該対応には別契約により調達される端末機器等に起因する可能性がある場合も含むものとする。

(2) 障害発生時、年度更新処理及び蔵書点検の初回実行時には、SEによるオンサイト支援を行うこと。

(3) 保守対応は原則として学校図書館の開館時間のすべてを受付可能とし、訪問修理の作業実施に際しては、図書館職員と十分協議の上、対応すること。

(4) 導入する機器の内、サーバ機器（サーバ機本体、サーバ機用無停電電源装置、サーバ用ディスプレイ）に対しては必要な保守サービスを5年分付帯すること。

クライアント端末及びプリンタについては瑕疵担保期間（契約不適合責任期間）終了後、スポットにて保守対応を行うこと。

- (5) 学校図書館パッケージのリビジョンアップ費用が含まれていること。

3 契約終了時の業務

- (1) 本契約の終了時において、業務委託契約の対象物件は事業者へ返却するものとし、返却に係る費用は事業者が負担するものとする。
返却された機器内に保存されているデータは復元できないよう消去するものとし、消去証明書を提出するものとする。
- (2) 次期移行用データの抽出及びレイアウト資料を作成・提供すること。
- (3) 甲府市教育委員会が契約の延長を申し出た場合は業務委託契約を延長するものとする。

第7章 オプション提案

1 提案の扱い

本仕様書に記載のない項目であっても、甲府市にとって有効かつ最適な機能・機器・運用等についてオプション提案を求める。なお、オプション提案については、提案内容及び費用を企画提案書に記載し、提出すること。また、別途見積もりを提示すること。

ただし、費用については、本仕様書の業務内容とオプション提案との費用の合計が本事業の予算規模を上回らないようにすること。なお、費用については価格点対象外とするが、提案内容は技術点評価の対象とする。

2 提案検討項目

- (1) 無償書誌データの活用

ア 国立国会図書館の JAPAN/MARC 等の無償データを活用し、外部有償 MARC 利用経費を抑制する手法を提案すること。

イ API 連携等による自動取得機能がある場合は、その詳細と作業軽減効果を提示すること。

- (2) 自由提案

その他、本事業に関連し、甲府市にとって有意な提案や、事業者のサービス独自の特徴を具体的に示すこと

以上

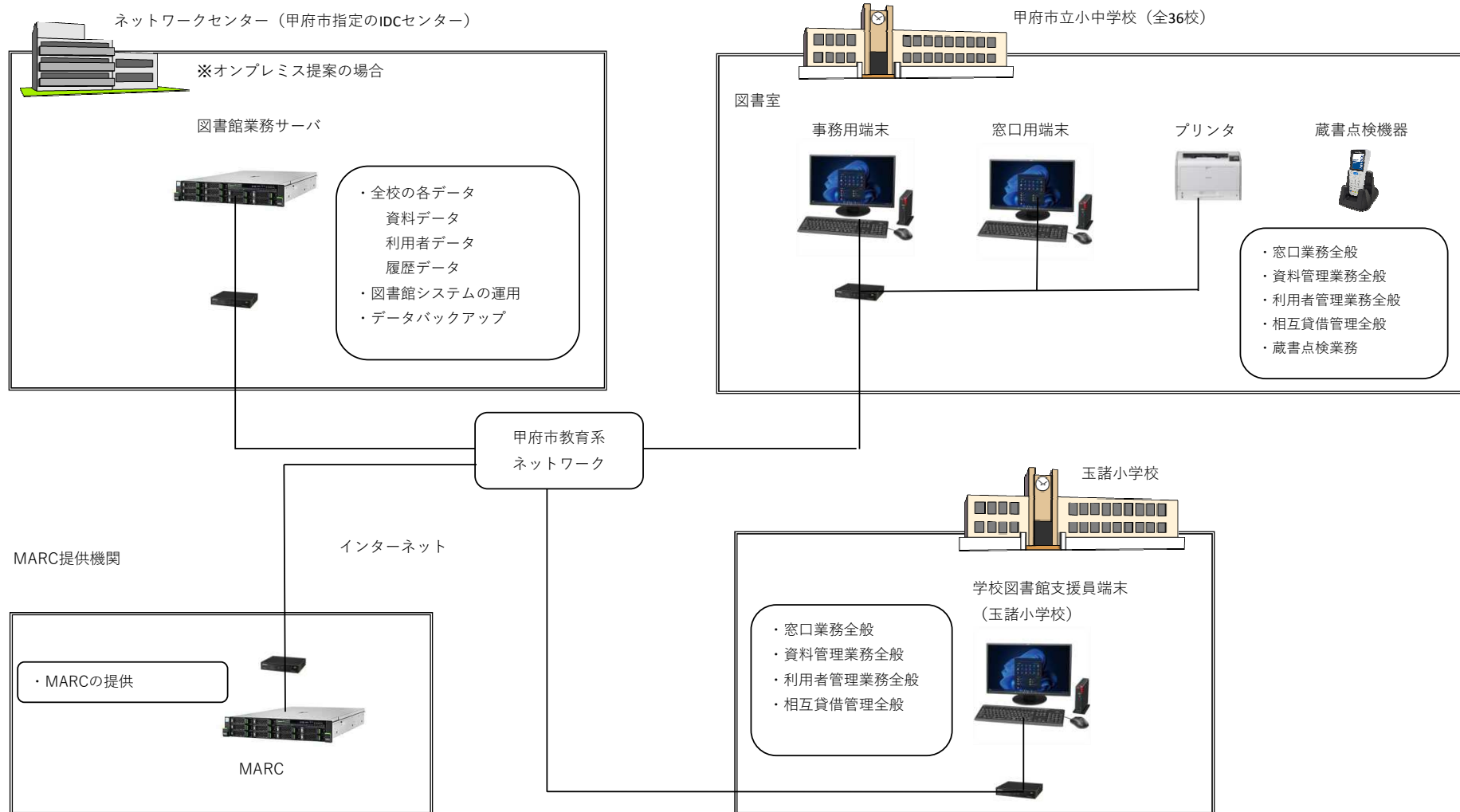
| 分類 | No. | 要求機能 |
|------------------|-----|---|
| 1.基本機能 | | |
| | 1 | Microsoft Edge またはGoogle Chrome の最新版で動作すること。 |
| | 2 | GUI環境で業務及びOPACが行えること。 |
| | 3 | 利用者区分(先生・児童生徒等)ごとの機能制限を持つこと。 |
| | 4 | システムは、先生用と児童・生徒用の2つインターフェースを持ち、先生用機能はID/パスワードによる入力制限がされていること。 |
| | 5 | ID/パスワードは複数設定できること。 |
| 2.利用者管理 | | |
| | 1 | 利用者データのメンテナンスができること。 |
| | 2 | 利用者バーコードの印刷ができること。 |
| | 3 | クラス更新後、クラス毎に出席番号を設定できること。児童生徒データを男女別又は男女混合で自動的に氏名順に並び替えができること。 |
| | 4 | 利用者毎に通知メッセージの登録ができること。 |
| | 5 | 児童生徒・先生・クラスなどの利用資格を分けて、利用者データの登録ができること。 |
| 3.書誌・所蔵データ管理 | | |
| 3-1基本機能 | | |
| | 1 | 書誌データは「図書」「雑誌」「視聴覚資料」の3種類を管理できること。 |
| | 2 | 資料コードの規格(桁数、チェックデジット等)は、2種類まで扱えること。 |
| | 3 | 資料の装備に必要な資料コードのバーコードラベルや背ラベルの印刷ができること。 |
| | 4 | バーコードや背ラベルの印刷は、バーコード番号の範囲指定での指定の他、用紙の印字位置を指定することもできること。 |
| | 5 | 各学校での蔵書情報等の登録にあたっては、センターに設置するサーバのハードディスク内に登録された340万冊以上の標準書誌データ(以下「全件MARC」という)を活用でき、そこから必要な書誌データを即時に引き出せること。 |
| | 6 | 図書以外にも雑誌、視聴覚資料(AV)の管理もできること。 |
| 3-2図書書誌管理 | | |
| | 7 | 書誌データは必要に応じて修正・追加ができること。 |
| | 8 | 削除の際には、所蔵がある場合は警告メッセージを表示する機能があること。 |
| | 9 | 1書誌あたり500項目以上登録できること。 |
| | 10 | 項目の繰り返し、自動分かち、自動ヨミ振りにも対応できること。 |
| | 11 | 複本管理ができること。 |
| | 12 | 本校で修正・入力した書誌データも全件MARCと区別せずに検索・登録できること。 |
| | 13 | 本校で登録した書誌データは、リアルタイムで他校での蔵書登録で利用できること。 |
| | 14 | 各学校からの蔵書データ登録の際、受入日及び購入金額を任意に手入力ができること。 |
| | 15 | 各学校からの蔵書データ登録時に各学校独自のデータを入力できること。 |
| 3-3雑誌書誌管理 | | |
| | 16 | 前号の巻号を利用し、容易に雑誌登録ができること。 |
| | 17 | タイトルと各巻情報は分けて管理でき、検索ができること。 |
| | 18 | タイトル一覧画面より巻号(バックナンバー)一覧画面を表示できること。 |
| | 19 | 最新巻号の登録時に、直前号の貸出禁止が解除され、最新号を自動的に貸出禁止とすることができること。また、登録時に期限を予め設定することができること。 |
| 3-4視聴覚資料(AV)書誌管理 | | |
| | 20 | 曲名、演奏者、出演者の各種情報を全て登録できること。 |
| | 21 | 各種登録情報の全ての項目を検索対象とすることができること。 |
| 3-5所蔵管理 | | |
| | 22 | 複本の登録・管理ができること。 |
| | 23 | ISBNコードのある本の蔵書登録については、ISBNコードと独自に貼付したバーコードの2つを読み取るだけで、書誌データと自動的に連携し登録できること。 |
| | 24 | 所蔵場所(棚)の管理ができること。 |
| | 25 | 本籍場所と現在場所の2つを管理できること。 |
| | 26 | 貸出や返却時に表示させる通知コメントが設定できること。 |
| | 27 | 寄贈本の場合、寄贈者の氏名等を入力する項目があること |
| | 28 | 貸出累計回数を確認することができること。また貸出累計回数は自動でカウントされること。 |
| | 29 | 受入価格については、税込み、税抜き、税額の3つが管理できること。 |

| 分類 | No. | 要求機能 |
|-------------------|-----|--|
| | 30 | 資料バーコードの組替処理ができること。 |
| | 31 | ステータスや所蔵場所については、変更日の管理ができること。 |
| | 32 | 資料コードごとに所蔵修正や通知コメントを入力できること。 |
| 4. カウンター業務（貸出・返却） | | |
| 4-1基本機能 | | |
| | 1 | 長期休業、臨時休館日等の設定及びメンテナンスができること。 |
| | 2 | 休館日設定等を元に返却予定日が自動計算されること。 |
| | 3 | 利用者資格ごとに貸出冊数及び貸出期間の制限ができること。 |
| 4-2児童生徒用貸出・返却機能 | | |
| | 4 | 児童生徒用向けの容易なUIで、返却及び貸出できること。 |
| | 5 | 現在貸出中の資料名・返却予定日を画面で確認できること。 |
| | 6 | 貸出・返却の作業終了後、画面を切り替えることなく次の貸出・返却の処理を実行できること。 |
| | 7 | 専用バーコードの走査により、貸出確定や貸出／返却の画面切替ができること。 |
| | 8 | 利用者カードを走査する事により貸出画面へ自動で移動できること。 |
| | 9 | 児童生徒が自分で操作可能な貸出状況確認の機能があること。 |
| | 10 | 貸出画面には、年度内に借りた累計冊数表示ができること。 |
| | 11 | その累計冊数に応じて3段階のアクションが表示されること。 |
| | 12 | 児童生徒画面は、小学校用と中学校用の2種類以上のデザインを用意し、設定で簡単に切り替えが可能 |
| | 13 | 画面上のメッセージのルビあり・なしを設定で変更出来ること。 |
| | 14 | バーコードリーダの読み取り音ではなく、入力受付、エラー表示、ポップアップ表示時にそれぞれの判別可能な音を出せること。 |
| 4-3先生用貸出・返却機能 | | |
| | 15 | 貸出、返却及び貸出更新が検索結果等に即時反映できること。 |
| | 16 | 利用者別に貸出の一覧表示ができること。 |
| | 17 | 貸出期限の変更ができること。 |
| | 18 | 貸出中の資料を任意に延期できること。 |
| | 19 | また、延期回数が貸出規則の回数を超過したり、貸出延期する資料が予約資料の時は自動的にチェックし、音やメッセージで操作員に通知して可否を判断を促す機能があること。 |
| | 20 | 貸出・返却のコード入力はバーコードリーダのほかキーボードからの入力にも対応していること。 |
| | 21 | 現在貸出中の資料名・返却予定日を画面で確認できること。 |
| | 22 | 貸出・返却の作業終了後、画面を切り替えることなく次の貸出・返却の処理を実行できること。 |
| | 23 | 専用バーコードの走査により、貸出確定や貸出／返却の画面切替ができること。 |
| | 24 | 利用者カードを走査する事により返却画面であっても貸出へ自動で遷移すること。 |
| | 25 | 貸出画面で利用者が特定されていない時、資料コードを走査すると返却へ自動で遷移すること。 |
| | 26 | 資料の予約ができること。 |
| | 27 | 予約中の資料が貸出可能になった場合は画面に表示できること。 |
| | 28 | 督促・予約有り等を自動的にチェックし、音やメッセージで操作員に通知できること。 |
| | 29 | 除籍・不明・予約・持禁資料を自動的にチェックし、音やメッセージで操作員に通知できること。 |
| | 30 | 未返却資料を貸出すと、今までの貸出利用者が確認でき、同時にその自動返却処理が行われること。 |
| | 31 | 資料の無効区分（不明・紛失）となっている資料が処理されると、自動で解除処理を行うこと。 |
| | 32 | 貸出中資料が返却処理される前に他の利用者に貸し出された場合、元の利用者の返却処理が自動で行われること。 |
| 5.催促 | | |
| | 1 | 返却期限を超過している資料の一覧が印刷できること。 |
| | 2 | 返却期限を超過している利用者に催促状の印刷ができること。 |
| | 3 | 印刷の条件として、返却予定日からの経過日数のほか、返却予定日の範囲でも指定できること。 |
| 6.予約 | | |
| | 1 | 先生用・児童生徒用両方の画面で以下の予約運用が出来ること。 |
| | 2 | 資料の予約については、延べ利用者数1,000以上の予約ができること。 |
| | 3 | 先生用機能では、検索結果から予約入力ができること。本が在架時でも貸出時でもどちらの状態でも予約が可能であること。また、設定で運用の切り替えが出来ること。 |
| | 4 | 予約された本が返却された時メッセージまたはポップアップで予約状況の表示が行われ、取り置きが出来ること。 |
| | 5 | 予約棚になった本は、予約者の貸出処理時にメッセージまたはポップアップで貸出可能であることを自動的に知らせること。 |
| | 6 | 先生用機能では、予約取り消しや優先順位の変更などの管理を行うことが出来ること。 |
| 7.貸出状況確認 | | |

| 分類 | No. | 要求機能 |
|---------------|-----|---|
| | 1 | 児童・生徒画面では利用者コードの入力で、現在の貸出状況・予約状況の確認を自ら行えること。 |
| | 2 | 先生画面では、利用者検索から、その利用者の貸出・予約状況の確認ができるほか、資料検索からは資料の貸出・予約状況の確認ができること。 |
| 8.蔵書点検 | | |
| | 1 | 蔵書点検機能を有すること。 |
| | 2 | ハンディーターミナルを使用した蔵書点検を行うことができること。 |
| | 3 | PCを使用したオフラインでの蔵書点検を行うことができること。 |
| | 4 | 除籍・未登録・棚違いの資料のチェックリストを印刷できること。 |
| | 5 | カウンターを通さず(返却処理をせず)棚に置かれた資料については、自動で返却処理が行われること。 |
| | 6 | 蔵書点検の結果、不明資料一覧を印刷することができること。 |
| | 7 | 一定(任意指定可)回数以上の不明資料を一括で除籍に変更できること。また除籍資料は任意に復籍する事が可能であること。 |
| | 8 | 蔵書点検時に未登録本・仮登録本を検出した場合は、エラーリストにその情報が出力されること。また、エラーリストには、未登録本・仮登録本の資料コードだけでなく、直前に入力された本の書名も併せて表示され、容易に未登録本を探すことができること。 |
| 9.年度更新 | | |
| | 1 | Excel形式のデータの取り込みによる新入生等の利用者データ一括登録ができること。 |
| | 2 | クラス単位での進級/卒業処理が一括でできること。 |
| | 3 | 卒業生に資料の貸出中利用者がいる場合、その利用者は削除出来ないようになっていること。 |
| 10.閲覧総計 | | |
| | 1 | Excelと連携し印刷プレビューできること。 |
| | 2 | 必要に応じて直接プリンタに印刷することも可能であること。 |
| | 3 | 蔵書一覧等の確認リストの出力ができること。 |
| | 4 | 帳票データはCSV及びExcel形式へ出力ができること。 |
| | 5 | 日別、月別及び年別の貸出冊数帳票の出力ができること。 |
| | 6 | ベストリーダの印刷ができること。 |
| | 7 | 多読者貸出資料の印刷ができること。 |
| | 8 | 資料毎の貸出実績の印刷ができること。 |
| | 9 | 個人読書傾向表の印刷ができること。 |
| | 10 | 分類別蔵書統計表の印刷ができること。 |
| | 11 | 全利用者の貸出履歴一覧の印刷ができること。 |
| | 12 | 図書原簿の印刷ができること。 |
| 11.図書館用掲示板 | | |
| | 1 | 先生画面用のお知らせ機能があること。 |
| | 2 | 児童・生徒画面用のお知らせ機能があること。 |
| | 3 | 指定した期間のみお知らせを表示させる機能があること。 |
| | 4 | お知らせは下書きの機能があり、掲示の可否について設定できること。 |
| 12.資料検索機能 | | |
| 12-1基本機能 | | |
| | 1 | 入力されたキーワードの正規化処理が行われ、利用者が、ひらがな・カタカナの区別や「バ」「ヴァ」等を意識しなくても同じ検索結果が得られること。 |
| 12-2児童生徒用検索機能 | | |
| | 2 | 各学校の図書業務端末やWeb検索端末(Webブラウザを備える端末)から検索が可能で、検索結果として書誌、所在、貸出状況等の情報がリアルタイムに表示できること。 |
| | 3 | 自校の蔵書の他に本システムで管理された他校の蔵書情報も検索できること。 |
| | 4 | 自校の蔵書、他校蔵書の検索と同様の画面で、全件MARCを検索できること。 |
| | 5 | 書名、著者名による検索のほか、学習件名等のキーワードによる検索ができること。 |
| | 6 | 操作性に優れたGUIベースの検索が可能で、児童生徒にも操作しやすいものであること。 |
| | 7 | 新着図書一覧の表示ができること。 |
| | 8 | 新着図書は受入日をもとに自動で表示され、かつ一定期間が過ぎたら自動で非表示になること。 |
| | 9 | 検索結果一覧では、各項目でソートができること。 |
| | 10 | 検索結果一覧、検索結果詳細の項目表示は完全表示とし、表示が切れ無いこと。 |
| | 11 | 検索結果一覧、検索結果詳細では、所蔵の有無、貸出状況も併せて表示されること。 |
| | 12 | 設定により、書名、著者名、出版者、任意定義項目、分類、ISBN、資料コード、内容項目等で資料検索することができること。またAND、OR、NOTを使用し、項目間の複合検索が行えること。 |
| | 13 | 設定により、ワイドディスプレイにも対応したウィンドウサイズにもできること。 |
| | 14 | 設定により、資料検索結果の詳細画面に表紙画像を表示が可能であること。 |

| 分類 | No. | 要求機能 |
|-----------------|-----|---|
| 12-3先生用検索機能 | | |
| | 15 | 書名、著者名、出版者、任意定義項目、分類、I S B N、資料コード、内容項目等で資料検索することができること。 |
| | 16 | 書名、著者名、任意定義項目は、全半角混在で検索が行えること。 |
| | 17 | 検索項目毎に前方・中間・後方一致の指定ができること。 |
| | 18 | A N D、O R、N O Tを使用し、項目間の複合検索が行えること。 |
| | 19 | 検索した時の条件を保存し、その後条件を付加して絞込検索が行えること。 |
| | 20 | 資料検索の結果、その書誌の所蔵状況（貸出中・未所蔵資料等）の確認ができること。 |
| | 21 | 資料詳細画面で貸出中資料の場合、利用者氏名と返却予定日の確認ができること。 |
| | 22 | 検索結果一覧表示では、所蔵の状態に合わせて表示色が変わること。 |
| | 23 | 検索結果の一覧をCSVや帳票に出力できること。 |
| | 24 | 資料検索画面で、所蔵する学校名と資料コード、資料状況の確認が一覧で確認できること。 |
| | 25 | 資料検索画面で、最終利用者が確認できること。 |
| 13.学校間相互貸借機能 | | |
| | 1 | 図書バーコードを貼り替えたり、登録し直すことなく、学校間で図書の相互貸借ができること。 |
| | 2 | 各学校の業務端末から、他の学校へ相互貸借のためのリクエストを行うことができること。 |
| | 3 | 相互貸借のリクエストが自校に来ている場合、業務端末の起動時にメッセージが表示され知らせる機能があること。 |
| | 4 | 学校間で以下のパターンの相互貸借連携機能（依頼・受諾/拒否・貸出・返却）ができること。 |
| | 5 | 他校の所蔵を検索し、相互貸借依頼をかける事ができること。 |
| | 6 | 依頼を受けた学校は、許可/保留/拒否の回答とコメントの返信ができること。 |
| | 7 | 依頼状態はリアルタイムに検索・確認が可能であること。 |
| | 8 | 貸借本の受入・返却は管理画面でのバーコード読み取りのみの操作で行えること。その際、所蔵場所の移動も自動で行われること。 |
| | 9 | 相互貸借で貸し出された本の所在・状態は相互貸借管理画面で、リアルタイムに確認ができること。 |
| 14.オフライン貸出・返却機能 | | |
| | 1 | ネットワーク障害等でサーバへの接続が出来ない場合でも、オフラインで貸出・返却を行えること。 |
| | 2 | サーバ接続復旧後に、オフライン機能で蓄積した貸出・返却データを一括投入できること。 |
| 15.センターモード機能 | | |
| | 1 | センター用機能を持ち、センター用の端末では全校のデータを参照・修正ができること。 |
| | 2 | 蔵書統括表や学校別貸出統計等、地域内を統括した帳票が出力できること。 |

甲府市立小中学校 学校図書館システム構成図



| 項 | 品名 | 型名 | 数量 | 単位 | 性能・概要 |
|-----|--|------------|----|----|---|
| I | サーバ関連 | | | | |
| 1 | PRIMERGY RX2540 M8 ラックベースユニット(2.5インチ HDD/SSD×8) | PYR2548R2N | 1 | 台 | ラックマウント型サーバベースユニット(占有ユニット数:2U) |
| 2 | Windows Server 2025 Standard(16コア)ダウングレードサービス付きWindows Server 2022 Standard インストール | PYBWPD5 | 1 | 式 | WindowsOS |
| 3 | Windows Server 2025 1 Device CAL | PYBWCD01F | 4 | 式 | WindowsCAL(4CAL) |
| 4 | Windows Server 2025 10 Device CAL | PYBWCD10F | 2 | 式 | 〃(20CAL) |
| 5 | Windows Server 2025 50 Device CAL | PYBWCD50F | 1 | 式 | 〃(50CAL) |
| 6 | Xeon 6517P プロセッサ(3.20GHz、16コア、72MB)×1 | PYBCP70X8 | 1 | 台 | CPU:Xeon Gold 6426Y×1台 |
| 7 | インディペンデントモード設定サービス | PYBMMD2 | 1 | 台 | 製品出荷時にインディペンデントモードを構築するサービス |
| 8 | メモリ32GB(32GB 6400 RDIMM×1) | PYBME32ST | 1 | 台 | メモリ32GB(32GB×1) |
| 9 | RAID設定サービス(RAID5+Hotspare) | PYBAS5H2 | 1 | 式 | 製品出荷時にRAID構成(RAID5+Hotspare)を構築するサービス |
| 10 | SASアレイコントローラカード(PRAID EP640i)(8port/4GB/SAS 12Gbps) | PYBSR4C63L | 1 | 台 | SASアレイコントローラカード |
| 11 | 内蔵ストレージケーブル(2.5インチx8 PCIe SSD/SAS/SATA接続) | PYBCBE048 | 1 | 台 | 内蔵ストレージケーブル |
| 12 | 内蔵2.5インチ SATA SSD-480GB (RI、NonSED / SED兼用) | PYBSS48NMG | 4 | 台 | 内蔵SSD(2.5インチ) ※480GB×4台(RAID5+Hotspare)、実効容量960GB |
| 13 | 内蔵データカートリッジドライブユニット | PYBRD111 | 1 | 台 | データバックアップ装置 |
| 14 | 内蔵DVD-ROMユニット | PYBDV121 | 1 | 台 | 内蔵DVD-ROMドライブ |
| 15 | USB-SATAケーブル(ODD接続用) | PYBCBU002 | 1 | 台 | 光学ドライブ接続ケーブル |
| 16 | セキュリティチップ | PYBTMP20 | 1 | 台 | TPM2.0モジュール(TCG準拠) |
| 17 | 電源ユニット(900W) | PYBPU902 | 1 | 台 | 電源ユニット |
| 18 | 電源ケーブル(AC100V対応/3m) | PYBCBP102 | 1 | 本 | 電源ケーブル(AC100V) |
| 19 | ServerView Suite DVD(Tools) & ドキュメント | PYBSVT3 | 1 | 式 | サーバ管理用ユーティリティソフトウェア及びドキュメント |
| 20 | ラックレールキット | PYBRR0C | 1 | 台 | 19インチラック取り付け用レールキット |
| 21 | 18.5インチ ラック・コンソール(RC26) | PY-R1DP3 | 1 | 台 | ラックマウント型ディスプレイ(占有ユニット数:1U) ディスプレイ:18.5インチカラーLCD 解像度:最大1366×768 キーボード:日本語105配列(OADG準拠) ポインティングデバイス:タッチパッド(スクロール機能付き) |
| 22 | 電源ケーブル(AC100V対応/3m) | PY-CBP102 | 1 | 本 | 電源ケーブル(AC100V) |
| 23 | ディスプレイ&USBケーブル(3m) | PY-CBD002 | 1 | 本 | ラックコンソールへセンターサーバの接続ケーブル |
| 24 | 高性能無停電電源装置(Smart-UPS SMT 1500RMJ) | PY-UPAR152 | 1 | 台 | 定格電圧:100V、定格容量:1500VA / 980W、コンセント:6口(占有ユニット数:2U) |
| 25 | PowerChute Serial Shutdown for Business v1.3 | B5143TW2C | 1 | 式 | 電源管理ソフトウェア |
| 26 | SupportDeskバック Standard PRIMERGY 5年 ラッカーサーバ | PYBSPH5D56 | 1 | 式 | サーバ用保守サービス(5年バック)※平日8:30~19:00対応 |
| 27 | SupportDeskバック Standard PRIMERGY 周辺機 5年 UPS | SV7X1061D1 | 1 | 式 | 無停電電源装置用保守サービス(5年バック)※平日8:30~19:00対応 |
| 28 | データカートリッジRDX 1TB | PY-RDC1TA | 3 | 個 | バックアップ用メディア(カートリッジ式HDD:1TB) |
| 29 | Arcserve Backup 19 for Windows | B5140JADC | 1 | 式 | バックアップ管理ソフトウェア |
| II | 蔵書点検機器 | | | | |
| 1 | 小型ハンディターミナル MET-2000 | 1692502 | 8 | 台 | 蔵書点検用携帯端末 |
| 2 | MET-2000用 通信ユニット | 1692503 | 8 | 台 | 上記携帯端末のデータ通信インターフェース(バッテリー充電機能内蔵) |
| 3 | ホスト通信ケーブル(USBケーブル/通信ユニット~PC間) | 1692504 | 8 | 本 | 上記データ通信インターフェースと書く学校設置端末との接続ケーブル |
| 4 | MET-2000用 転送ユーティリティ(MET→PC間通信ツール) | 1692505 | 8 | 式 | 蔵書点検用携帯端末と各学校設置端末とのデータ通信を行うためのユーティリティソフトウェア |
| 5 | 充電器セット eneloop単4形4本付 | OT0602132 | 8 | 台 | 充電電池及び充電器 |
| III | ソフトウェア関係 | | | | |
| 1 | K-12 図書館 LB@SCHOOL V4 基本システム(1ユーザ付き) | A5149QJN | 1 | 個 | 学校図書館システム本体(1クライアント付き) |
| 2 | K-12 図書館 LB@SCHOOL V4 追加20ユーザ | A5149QJS | 3 | 個 | 学校図書館システム クライアントライセンス(60ライセンス) |
| 3 | K-12 図書館 LB@SCHOOL V4 追加10ユーザ | A5149QJR | 1 | 個 | 〃(10ライセンス) |

